

## 2019年 明けましておめでとうございます!!



今年は猪年。2019年の干支は、己亥（つちのとい）ということになります。

己は、草木が十分に生い茂って整然としている状態。

亥は、草木が枯れ落ちて、種の内部に草木の生命力がこもっている状態。とされています。

また、己（つちのと）の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年でもあるのです。

亥の年は、翌年から始まる次の種の成長に備えて、個人は知識を増やす、精神を育てる。組織は、人材育成や設備投資、財務基盤を固める。など、内部の充実を心掛けるとよい年です。

大分医労連も、今年は今後飛躍していくために人材を育て、学習会を深めて土台作りをしていく年にしていきたいと思います。

2019年は、春の統一地方選挙、夏の参議院選挙と12年に一度の選挙の年です。

医療の現場も年々厳しくなっていますが、安心・安全な医療・介護の提供を基本に、働きやすく、楽しい職場を作るためにも組合員一同一致団結して頑張っていきたいと思います。



<http://oita-irouren.net/>



検索

今年も頑張ります(\*^^)v  
よろしくお祈りします♥

### 労働組合とはなんぞや？

労働組合を作りたい、あるいは加入しなければと考えるのは、たいてい職場で解雇や賃金カットなどのトラブルが起きた時、あるいは有給休暇が取れない、残業代が支払われないなどの不満や辞めさせられそうなどの不安がある場合でしょう。

何も不安がなく、休暇もきちんと取れ、給与も順調に上がっていく、上司も職場環境も言いたいことなれば、特に組合を必要とせず、考えることもないかもしれせん。しかし、世の中、そううまくいかないのが現状です。

なのに、なぜ労働組合が弱体化してきているのでしょうか・・・。

労働組合は、自分には関係ない？労働組合は「硬い・暗い・タサイ」という若者の感じ方。

「大手企業の正社員の給料を上げるための組織」「正社員の待遇を守るための組合」

「一部の偏った思想を持った活動家がやっている組織」など自分とは関係のない組織だと思っている人が少なからずいることでしょう。

しかし、本来労働組合とは、すべての「勤労者」が加入でき、会社からも政党からも独立した組織なのです。

「パートやアルバイト、非正規職員」すべての人が加入できるのが労働組合です。

働く環境の整備、賃金、雇用条件など働く上での多くの問題に関して、相談し、改善するための政策をみんなで考え討論し、使用者側と話し合いができるような形に持って行くことができるのが労働組合です。 By Mima